

令和7年度 第2回 地区推進会議 会議録

1. 開催日時

令和8年3月23日(月) 10時30分～12時00分

2. 開催場所

市川市役所第1庁舎5階 第2委員会室

3. 出席者

・福祉委員

【国府台地区】岸田委員【国分地区】服部委員

【曾谷地区】日光委員、高浜委員【大柏地区】淡路委員、吉野委員

【宮久保・下貝塚地区】有坂委員、後藤委員【市川第一地区】山本委員

【市川第二地区】滝沢委員、安倍委員【真間地区】千葉委員

【菅野・須和田地区】吉野委員【八幡地区】鈴木委員

【市川東部地区】坪井委員【信篤・二俣地区】加藤委員、松永委員

【行徳地区】森川委員、畑中委員【南行徳地区】松倉委員、山本委員

・市川市

・市川市社会福祉協議会

4. 傍聴者

1名

5. 議事

(1)買い物に行くことが困難について

(2)交通が不便について

(3)その他

6. 配付資料

・会議次第

・資料1 共通課題の検討～アンケート結果から～

7. 議事録

(午前 10 時 30 分開会)

発言者	発言内容
事務局	<p>定刻となりましたので、会議を始めたいと思います。本日はお忙しい中、地区推進会議にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>本日の進行を担当させていただきます地域共生課の出口でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは会議に先立ち、地域共生課長 宮本よりご挨拶申し上げます。</p>
地域共生課長	<p>本日はお忙しいところ、令和 7 年度第 2 回地区推進会議にご出席いただきありがとうございます。また、日ごろから地域のためにご尽力いただき、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>地区推進会議は地域課題の検討の場として平成 17 年に始まった会議として、皆様が地域で活動する中で感じたことなどを、振り返りシートを使用し検証するとともに、その中で出てきた課題について検討し、解決に向けた取り組みを進めていくための場となります。</p> <p>日ごろは 14 の地区社会福祉協議会ごとに活動をされていることと思いますが、本日は全地区の代表の方にお集まりいただいておりますので、地区を超えての意見交換を行っていただき、場合によっては他の地域の取り組み事例をご自身の地域の参考にするなど、有意義な場としていただければと思っております。</p> <p>短い時間ではございますが、皆様と地域課題について率直な意見交換ができればと願っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>続きまして、本日、千葉商科大学よりご参加いただいている皆様をご紹介します。千葉商科大学の齊藤先生、和田先生、そして 2 年生の 3 名の皆様にご出席いただいております。</p> <p>本日出席しております、市川市の職員の紹介をさせていただきます。地域共生課より、課長の宮本、山本、寺崎、石橋、高橋、そしてわたくし出口が出席しております。</p> <p>また、社会福祉協議会より、常務理事の松尾様以下職員の皆様にご出席いただいております。</p> <p>それでは、只今から、令和 7 年度第 2 回地区推進会議を開催いたします。</p> <p>なお、本日の会議は、市川市審議会等の会議の公開に関する指針により、原則公開となっておりますが、会議を公開することにご異議ございませんでしょうか。</p> <p>本日は傍聴希望者が 1 名いらっしゃいますので、これより入室していただきます。</p>

	<p>では、早速議題の方に入りたいと思います。</p> <p>前回の会議から、アンケート結果で明らかとなった本市の共通課題を取り上げております。前回のごみ問題を取り上げましたが、2 回目の今回は「買い物に行くことが困難」と「交通が不便」という問題を取り上げます。</p> <p>前回の会議もそうだったのですが、短時間の会議の中で一定の結論を導くのは困難だと感じております。ただ、市内の全地区の皆様がそろそろ貴重な会議となりますので、それぞれの地域での課題感や地域住民として実践されていることをまずは全体で共有し、その後で、グループごとに率直な意見交換をしていただければと考えております。</p> <p>また、交通やチケット 75 を所管する部署とチャットで連絡できる体制を整えておりますので、ご質問いただいたことについてはこの会議の時間内に回答できるようにしたいと考えております。</p> <p>本日は関連する課題ということで、議題(1)「買い物に行くことが困難」、および、議題(2)「交通が不便」について一括して取り上げたいと思います。</p> <p>それでは、アンケート結果について地域共生課長宮本よりご説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(説明)</p>
事務局	<p>では、まずこの2点について共通して課題を抱えていらっしゃる地域の方から、現状や課題感をお聞かせいただければと思います。</p> <p>指名制で大変申し訳ないのですが、アンケートで特に課題感が強いとお答えいただいた地区の中で、曾谷地区の方がいかがでしょうか。</p>
曾谷地区 日光委員	<p>曾谷地区には、大型のスーパーが一つもありません。隣接地域の宮久保や高塚、国分には大型スーパーがありますが、曾谷の中でも特に低地地方については、以前はあった大型スーパーが2011年の震災で壊れたことにより撤退したため、一つもなくなってしまったというのが現状です。</p> <p>小型のスーパーやコンビニはありますが、大型スーパーならではの魅力というものもやはりあり、お互いさま事業でも買い物代行の依頼を受け、対応しています。しかしながら、買い物はやはり自分の目で見てほしいという方が多いのではないのでしょうか。</p> <p>曾谷は交通手段が限られており、交通量が多い割に歩道が狭いため歩行しづらく、凹凸が激しい箇所もあり、車いすの利用者にとっても利用しづらいです。そのため買い物へ出かけること自体に心理的な抵抗を感じる方もいることでしょう。市や県には歩行者に優しい街づくりをしていただきたいと思います。</p>

事務局	<p>また、近隣の大型スーパーに共同でバスを運行してほしいとも思います。スーパーへ行くためのマイクロバスを出している老人ホームもあるようですので、バスの運行を事業としてやっていただく方法はないのかなと思うところではあります。</p> <p>もう1地区ほど課題感が強いとお答えいただいた地区のお話をお聞かせいただきたいのですが、市川第二地区の方よろしいでしょうか。</p>
市川第二地区 滝沢委員	<p>市川第二は、京成の市川真間駅から行徳橋までが範囲となります。南北に非常に長く、便利なところと不便なところの格差が激しいエリアです。</p> <p>駅から離れた大洲地区、大和田地区、行徳橋付近や市川 IC 付近はいずれも商店街が無くなり買い物に困っており、大和田・稲荷木地区は買い物不便地域として数年前からダイエー（現イオン）の移動販売に週に一度お世話になっています。</p> <p>移動販売は若い方が利用しているのを見かけることもあり、時には1か所につき15～20組ほどが利用することもあります。</p> <p>もう一か所増やしてほしいとの要望もありましたが、既存の店舗があるようなエリアでは、店舗が閉業しかねないことから兼ね合いが難しく、私も推薦ができません。</p> <p>高齢の方が一生懸命営んでいるお店もあり、高齢者が必要とする食品等を販売しています。そこに大手の移動販売が参入すると、そのお店が廃業してしまう懸念があり、こういった点について行政の皆さんと話し合いたいとも思っています。</p> <p>市川第二地区は買い物が困難なエリアではありませんが、足腰が悪くなってくると住む場所に限らず市内全体で買い物が困難になると思います。</p>
事務局	<p>アンケートでお答えいただいた課題感について、最寄りのバス停が遠い・家から病院まで直通で行ける手段が無い・タクシーが中々つかまらない等、地区により理由が異なっていると感じています。</p> <p>課題感が高い地区の方にお話をお聞きしたところですが、逆に課題感の低い地区の方にもお話をお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>課題感が低い理由については、買い物や交通に不便を感じない・地域の助け合いで解決できている・他により高い課題感のあるものがある等様々かと思われそうですが、そういった点についても少しお話いただきければと存じます。国府台地区の方、よろしいでしょうか。</p>
国府台地区 岸田委員	<p>国府台地区は不便に見えるかもしれないが、実際は朝の6時から夜の12時過ぎまでバスが運行しており、以前あった商店街はなくなってしまったものの、矢切駅の近くや中国分に大きなスーパーもあります。そのた</p>

事務局	<p>め、アンケート結果のとおり買い物や交通に不便を感じる人はいないのではないかと考えています。</p> <p>続きまして、地域住民としてできることの実践例を共有していただけたらと思います。まずは、お互いさま事業を実施されている地区の方にお話をお聞きしたいと思うのですが、南行徳地区の方がいかがでしょうか。</p>
南行徳地区 松倉委員	<p>南行徳地区社協お互いさま事業の買い物代行について報告をさせていただきます。南行徳地区では2か所の拠点で活動を行っております。毎月開催している地域ケアシステム推進連絡会において、各拠点の活動状況および実績の報告をしていただき、今後の支援体制の進め方を話し合っています。</p> <p>2月の活動実績ですが、利用者14名、活動実績は52件でした。内訳は、ゴミ出し24件・買い物代行22件・薬の受け取り等その他6件となっています。</p> <p>利用者の多くは独居高齢者で、介護保険申請中の方や要支援1・2の方が中心となっています。買い物代行は、利用者14名のうち約半数の方が利用しており、商品の受け渡し時に自然な会話が生まれ、安否確認や見守りの機会にもなっています。</p> <p>買い物支援は、利用者の生活と孤立防止の両面を支える地域の見守りとして大事な支援活動であると考えています。</p>
南行徳地区 山本委員	<p>行政にお願いしたいことが二つあります。</p> <p>ゴールドシニア事業のチケット75についてですが、こちらの対象年齢を70歳くらいまで下げていただきたいです。</p> <p>また、コミュニティバスの路線について枠を広げていただきたいです。店舗の利益にもつながる。買い物のピークの時間帯が夜7時頃までだとして、それくらいまで運行してほしいなと思います。</p> <p>市内の高齢化率はどれくらいなのでしょう。</p>
事務局	<p>第5期わかちあいプランにおいて、65歳・75歳以上の割合が地区ごとにまとめられているようです。例えば課題感の強い地区の高齢化ですが、65歳以上の割合は曾谷地区が29.5%、市川第二地区が21.0%、大柏地区が28.2%、信篤・二俣地区が18.8%となっています。</p> <p>逆に、課題感の低い地区では、南行徳地区が18.3%、国府台地区が27.9%となっています。</p> <p>平均ですと約21%なので、その値を超えている地区については高齢化が進んでいる地域ということになると思われます。</p>

	<p>チケット75 およびコミュニティバスの件についてはご意見として承ります。</p>
<p>曾谷地区 日光委員</p>	<p>買い物代行について、担い手不足が課題となっています。スーパーまでの距離が遠いが車が使えないことになっているため、主に自転車を使用することから夏場等は大変です。また、コーディネートも難しく、考えあぐねているところです。</p>
<p>事務局</p>	<p>行徳地区のお互いさま事業についてもお話いただけますでしょうか。</p>
<p>行徳地区 森川委員</p>	<p>行徳地区は、東西線の行徳駅と妙典駅を最寄りとする地域です。妙典駅付近は若い人が多く、高齢者率は一桁ですが、行徳駅付近は高齢化が進んでいます。</p> <p>お互いさま事業はケアマネージャーや民生委員からの相談をきっかけに開始したばかりで、大きなPRはしておりません。</p> <p>昨年行ったのはゴミ出し支援のみですが、現在も継続して支援をしております、この一つの例から更なる支援へと広がっていくのではないかと感じています。</p> <p>また、夫が亡くなり独居老人となった方の買い物代行を民生委員を通じて今年の2月より開始しました。</p> <p>社会の制度の狭間に置かれている方達はいると感じています。</p> <p>行徳地区は便利か不便かと問われれば便利と答えますが、エリアによっては高齢化が進んでいます。様々なスーパーマーケットがあるため買い物に困ることはないですが、それは買い物に行ける健康な方にとってであり、今救うべき人たちというのは私にとっては苦にならない500m先のスーパーへの道のりを歩くのが大変な方達です。</p> <p>イオンの移動販売は4年ほど前から来てもらっていて、助かっているという声を聞きます。また、それが一つのコミュニケーションの場にもなっています。</p> <p>南行徳地区の山本さんからお話がありましたが、交通機関について問題点となるのは、タクシー会社や京成バス等と市の担当部署との調整が難しいところだと思います。</p> <p>私事ですが、娘夫婦がタイのバンコクに住んでおり、毎年行っています。交通機関の利便性が高く、トゥクトゥクやタクシー・バス・電車等、安価なものから高いものまで価格帯が様々です。暑い国ですから、ちょっとした買い物でも歩かずにこういった安価な公共交通機関を利用します。</p> <p>日本は、健常であることが前提の制度づくりがされていますが、弱い人の立場に立って制度をつくる必要があるのではないのでしょうか。例えば福祉</p>

事務局	<p>有償運送について見ると、利用費用が高く、本来目指すべきものと合致していない部分があると思います。</p> <p>買い物支援に比べ、移動支援の実践は難易度が高いと感じているところ です。</p> <p>ここで、グループ討論に入る前に国土交通省が昨年3月に公表した「高齢者の移動手段を確保するためのパンフレット」をご紹介します。</p> <p>国の資料であるため、本市でこの資料を専門に扱っている部署がないところではありますが、許可や登録の必要がない「有償ではない」運送についての具体的に記載されております。</p> <p>ここでは、任意の謝礼、燃料代・道路交通量・駐車場料金・保険料（自賠責・任意保険は対象外）・レンタカー代といった実費、（自治体等から支給される団体の運営に要する費用の補助金）・（団体運営の支援として第三者が支出する寄附金・協賛金）、（施設利用者に送迎を一体的に行う場合の利用料）、ごみ出しや草取りといった他の生活支援サービスと一律の料金体系に含まれる場合の利用料、病院内や買い物施設内等での付き添いといった生活支援サービスに付随して行われる運送、こうしたものは「有償」にはあたらないとされています。地域の中で取り組みたいという場合には、こうしたパンフレットも参考になるかと思い、紹介させていただきました。</p> <p>それでは、ここで、グループごとに、地域の現状や取り組みについて意見交換を行う時間を設けたいと思います。</p>
市川第一地区 山本委員	<p>討論前に一つ確認をさせてください。</p> <p>ゴールドシニア事業が実施されてから、決算等で何度か議題となっていることかと思いますが、市川市全体のバスおよびタクシーチケットの使用状況・予算額、各地区別の使用状況・決算額等の資料はありますか。無ければご用意いただきたいです。</p> <p>また、今までの実績を踏まえた今後の対応・対策も含めてお答えいただきたいです。</p> <p>地域差もあるかと思いますが、バスのチケットは使ってもタクシーのチケットは使わないという方がちらほらいらっしゃいます。市川市全体の状況を教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>今把握している情報ではいただいた質問にお答えできないのですが、所管課である地域包括支援課が、来年度に向けた同事業のパンフレットを既に作成しております。</p> <p>その内容によると、バスのみ利用の場合は20枚、タクシーのみ利用の場合は10枚、両用する場合はバス10枚とタクシー5枚とのことです。</p>

(グループ討論)	
事務局	<p>皆様活発に意見交換をしていただきましてありがとうございました。</p> <p>先ほどご質問をいただきましたバスとタクシーのチケットの利用状況の割合について、所管課より回答がありましたのでご報告させていただきます。令和5年度・6年度の通算でバスが約6割、残りの4割がタクシーとのことでした。こういった結果やご意見を踏まえた上で来年度の枚数を設定しております。</p> <p>では、先ほどまでのグループ討論の結果、皆さんと共有しておきたいご意見等がございましたら、挙手にてお願いいたします。</p>
菅野・須和田 地区 吉野委員	<p>ここ20年くらいで小売店が減少し、大型店は増加しています。振り返ってみると我々も高齢者になり免許の返納をし、移動手段としては自転車が主になってきています。ただ、自転車も何十年も乗れるものではなく、今年の4月から自転車の交通違反への取り締まりも厳しくなったことによりますます住みづらい世の中になっています。</p> <p>それはさておき、自分の考えですが、高齢者について外へ連れ出した方がいいのか、それとも家で安全に暮らしてもらおう方がいいのか、そういったせめぎ合いが買い物代行にはあると考えています。</p> <p>うちはヤクルトレディさんが毎週来ますが、あれと似たような形で、例えば買い物代行は言葉を代えると御用聞きみたいなものかと思います。今若者が一生懸命頑張っているようなウーバーイーツのようなサービスもありますし、そのようなサービスを1週間に1回くらいうまく取り込めば良いかと思います。見守りも兼ねておりますし、色んな意味がありますが、御用聞き制度を上手い具合に発展できれば良いかなと思いましたが、どちらにとってもメリットはあるはずで、嫌がる人もいるとは思いますが、何をするにしても、賛成する人もいれば反対する人もいます。我々が地域で出来ることは限られていますから、行政等に関わってもらい第三者機関のようなものを立ち上げることで、この制度がもっと発展すると思います。</p>
事務局	<p>それでは、議題の最後に本日参加して下さった学生の皆様に一言ずついただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>感想や今やっという取組に関する事など、地域との関わりについて何か一言お願いいたします。</p>
千葉商科大学 坂さん	<p>今私は有償ボランティアを行う「よろず隊」という団体に所属しています。依頼をもらい、15分につき300円という金額で学生ができる範囲で</p>

<p>千葉商科大学 菊池さん</p>	<p>支援をしており、これにより買い物代行の担い手不足を解消することもできるのではないかと考えております。</p> <p>また、他の地区にある大学でも同様の活動を行うことで、それぞれの地区における担い手不足の解消もできるのではないかと考えました。</p> <p>私も「よろず隊」として市川周辺で活動をしています。今日のお話を聞いて、スーパーが少ないなど現状を知らないまま活動していたことを実感しました。</p> <p>地域の困りごとなどのニーズを調査し、それらを解決していけたらいいなと思いました。</p>
<p>千葉商科大学 子安さん</p>	<p>私も先ほどの二人とは別の団体にはなりますが、ボランティア団体に所属しております。今日私が感じたのは、若い世代が高齢者の抱える問題を「自分ごと」として身近に捉えられていないということと、大学が行うボランティア活動が皆さんに知られていないということです。</p> <p>これらをやりとりできるように繋ぐツールがあれば、より交流を深め助け合うことができるのではないかと考えました。</p>
<p>事務局</p>	<p>最後に齊藤先生からも一言いただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>千葉商科大学 齊藤先生</p>	<p>私は大学でソーシャルビジネスや有償ボランティアなどを研究テーマとして学生たちと活動に取り組んでおります。</p> <p>「よろず隊」は福祉に対する意識の高い学生達が地域のニーズに寄り添って何かをしたいという気持ちで立ち上げた団体です。</p> <p>学生にとっては学業が本分ですので、大学の授業の合間等で地域の困りごとに対して活動を行っています。</p> <p>学生達の学業や生活とボランティア活動が両立する、持続可能な形でなければこういった活動は続けられません。大学内・行政・団体・地域いずれにとってもそういった仕組みづくりというのが非常に重要だと思っています。</p> <p>お互いさま事業はまさに有償ボランティアだと思っています。こういった取り組みは、小学校区や中学校区くらいのサイズ感でネットワークが構築されることで、時間はかかりますが次第に網の目が小さくなり、ニーズの取りこぼしが減るのではないのでしょうか。</p>

事務局	<p>次にその他の議題として、令和8年度の地域ケアシステム推進事業における予算につきまして、地域共生課長の宮本よりご報告させていただきます。</p> <p>(報告)</p>
地域共生課長	<p>パソコンを購入する基準につきましては、現状がフリーズしてまったく立ち上がらないですとか、故障により動作しないため地区の相談員個人が所有するパソコンを代替で使っているような状態を指しておりまして、極端な話ですが、起動から30分待てば動く場合は動作するため予算がつかないということになります。</p>
真間地区 千葉委員	<p>役所で30分立ち上がらなかつたら仕事ができないですよ。2年間言い続けてこの状況はありえないと思います。</p> <p>行政が予算化してくれないとみんな仕事ができないです。地域共生課の職員が不具合のあるパソコンを見に来たことも一回もないです。私たちのやる事務作業はそんなに簡単なものではないです。</p> <p>数年前まで社会福祉協議会がやってくれていた業務を、パソコンとプリンターとコピー機があることによって、地区社会福祉協議会で担わなければならないなくなっているという現状を、行政は見てもないのにそんなことを言うんでしょうか。なんとかお願いしたいです。</p> <p>活動費についても、20年間変動がないため増額をお願いしたのに1,000円しか上がらないです。世の中が賃上げを謳っている状況で、無駄な税金を省くのであれば私たち相談員にその分を分配して欲しいと思います。</p> <p>仕事をやるにあたって、パソコンも使えず活動費も増えない。私たち真間地区はあと5年で相談員が居なくなります。地域ケアをつくった行政としてそれでいいのかということ、地域共生課として今一度考えていただきたいです。</p> <p>真間地区の相談員の平均年齢は75歳以上で、あと何年出来るかということ、行政も考えてもらわないと私たちも仕事ができないです。</p> <p>市は地域の福祉を担う立場なのだから、ほとんどボランティアでやっている相談員や地域の方に予算をつけれないというのはおかしいと思います。</p>
市川第一地区 山本委員	<p>話の途中ですが、時間も限られているので、この質問を持ち帰って検討いただきたいです。</p>

地域共生課長	<p>現場の皆様のご意見を重く受け止めさせていただいて、なんとか少しでも改善できるようにして参りたいと思います。大変申し訳ございませんでした。</p>
事務局	<p>パソコンの配置については、今後状況確認等発生するかと思いますが、ご了承のほどお願いいたします。</p> <p>議題は以上となりますが、ここで地域包括支援課よりご連絡がありますので少しだけお時間をいただけたらと思います。</p>
地域包括支援課	<p>(エアコンサポート 75 の説明)</p>
事務局	<p>次回の会議開催については今年の秋頃を予定しております。次回は「自分や家族の健康や病気のこと」と「老後のこと」といった課題を取り上げたいと思います。詳細が決まりましたら追ってご連絡いたしますので、ご参加くださいますようお願いいたします。</p> <p>本日の会議は以上となります。ありがとうございました。</p>

(12時00分閉会)